

車種別取付資料

BOX No. 605432

車両情報	トヨタ	ルーミー	令和2年9月～	M900A/M910A系	1 / 5 ページ
	ダイハツ	トール	令和2年9月～	M900S/M910S系	
	スバル	ジャスティ	令和2年9月～	M900F/M910F系	
❗ 全車プッシュスタートシステム付き					

重要！

◎作業前に必ず車両のバッテリー（マイナス端子）を外し、3分間放置してください。

- バッテリーを接続したままの状態、電動パーキングブレーキスイッチのカプラの抜き差し及びシフトロックの解除を行うと、車両側の警告表示（ウォーニング）が消えなくなる場合があります。必ずバッテリー（マイナス端子）を外し、3分間放置してから作業を行ってください。
- バッテリー（マイナス端子）の接続は、必ず全ての接続作業が完了した後で行ってください。

❗ 注意事項

- ・取り付けできるエンジンスターターは、プッシュスタート専用モデルの下記商品のみです。
 - NEXTLIGHT-2B(商品コード:ESL55、シリアルNo. BR0035101以降の商品)
 - NEXTLIGHT-N1(商品コード:ESL56)
- ・専用ハーネスキット(商品コード:A201K)を使用します。
- ・取り付け後は、初期設定が必要になります。(3/4ページ左下に記載)

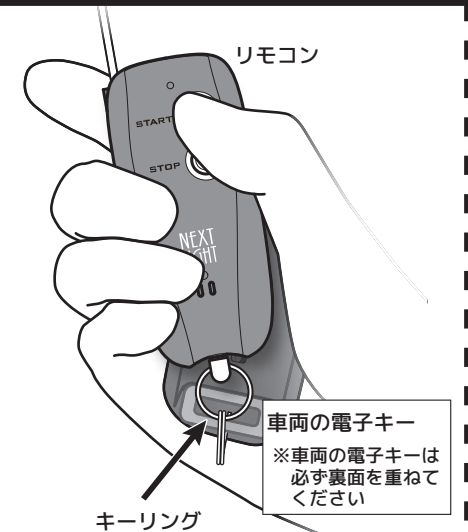
❗ 車両のオートライトシステムによるランプ類の点灯について

- ・車両のランプスイッチが常時「AUTO」のポジションにあるため、夜間等で周囲が暗いときにエンジンスターターによるアイドリング中は、ヘッドライトを含むランプ類が点灯したままになります。車両側の機能による動作のため異常ではありません。アイドリングが停止するとランプは消灯します。

＝重要＝

エンジンスターターのリモコンと電子キーは、必ず付属のキーホルダーに取り付けして、エンジンスターターを使用する際は、エンジンスターターのリモコンと電子キーは必ず右図のように重ねた状態で操作してください。

※重ねずに操作をすると、エンジンは始動しません。(認証エラーになります)
電子キーは必ず裏面を重ねてください。



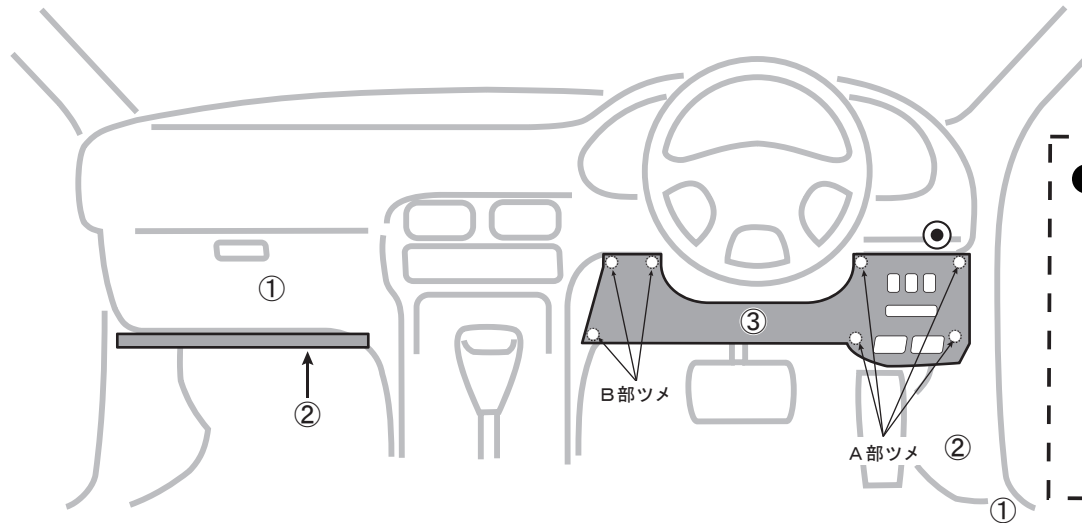
車種別取付資料

BOX No. 605432

車両情報	トヨタ	ルーミー	令和2年9月～	M900A/M910A系	2 / 5 ページ
	ダイハツ	トール	令和2年9月～	M900S/M910S系	
	スバル	ジャスティ	令和2年9月～	M900F/M910F系	
❗ 全車プッシュスタートシステム付き					

◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

❗ 各配線の取り付けについては3 / 5～5 / 5 ページをご覧ください。



❶ カバー類の取り外し方（運転席側）

- ① 右サイドステップカバーを外す。
- ② 右サイドカバーを外す。
- ③ インストルメントパネルフィニッシュパネルS/Aロアを外す。
…右上側のプッシュスイッチ付きのパネルを押さえ、インストルメントパネルの下側に手をかけて車両後方へまっすぐ引き、A部のツメ（4箇所）のかん合を外す。（インストルメントパネルの右側からは変形の原因になるので引かないこと）
次にインストルメントパネルの左側上下に手をかけて車両後方へまっすぐ引き、B部のツメ（3箇所）のかん合を外す。

❷ カバー類の取り外し方（助手席側）

- ① グローブボックスを外す。
- ② アンダーカバーを外す。

止めネジ等



車種別取付資料

BOX No. 605432

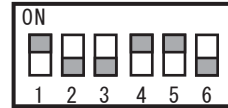
車両情報	トヨタ ルーミー	令和2年9月～	M900A/M910A系	3 / 5 ページ
	ダイハツ トール	令和2年9月～	M900S/M910S系	
	スバル ジャスティ	令和2年9月～	M900F/M910F系	

❗ 全車プッシュスタートシステム付き

重要!

必ず、ハーネスを接続する前にDIP-SWをセットしてください。
ハーネス接続してから、DIP-SWをセットしても設定されません。間違えた場合はハーネス接続を一旦外してください。

DIP-SW



リレーユニットのDIP-SWは、1番と4番と5番をONにセットしてください。他のスイッチはOFFのまま。(出荷時は、全てOFFにセットされています。)

❗ DIP-SW設定状態のブザー音

配線セルフチェック、またはDIP-SW設定状態の確認(取扱・取付説明書を参照)で、DIP-SWの1番から順番に6番までの設定状態を、ゆっくり発音します。

1番	2番	3番	4番	5番	6番
ピピーッ	ブブッ	ブブッ	ピピーッ	ピピーッ	ブブッ

初期設定

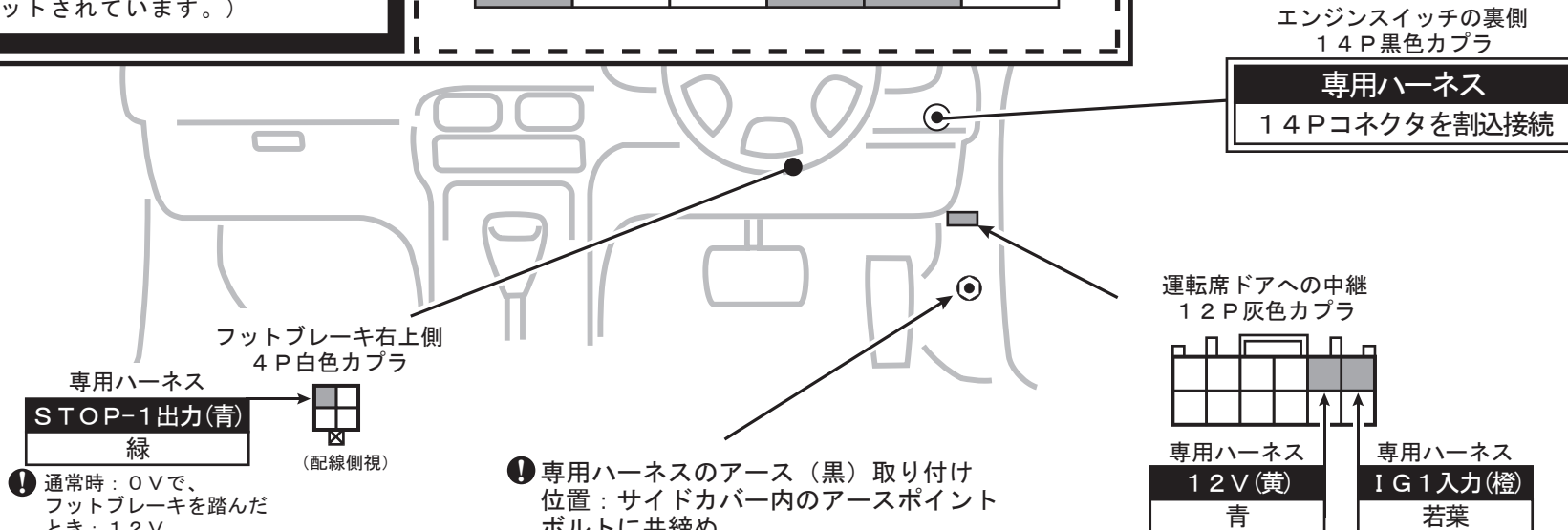
配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤ 設定完了

※ 設定作業をしないとエンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容(専用ハーネスの配線色)

車両配線色



❗ 通常時：0Vで、フットブレーキを踏んだとき：12V

❗ 専用ハーネスのアース(黒)取り付け位置：サイドカバー内のアースポイントボルトに共締め

専用ハーネス

A201S

❗ 取り付け方法

- ※ リレーユニットのCN1コネクタを接続する前に、必ずDIP-SWを指定されたポジションに設定してください。
- ① 専用ハーネスの14P中継コネクタを、エンジンスイッチ裏側のカプラに割込接続する。
 - ② 専用ハーネスの各配線、黄色・青色・橙色(本ページ参照)赤色(4/5ページ参照)の4本をそれぞれエレクトロタップを使用して上記の場所に接続する。(あらかじめ接続先の配線は、テスターで電圧を確認して、確実に接続してください。赤色の配線は、必ず付属の白色のエレクトロタップを使用して接続してください)
 - ③ アース(黒色)を、指定位置に固定する。
 - ④ 12PコネクタをリレーユニットのCN1に接続する。

車種別取付資料

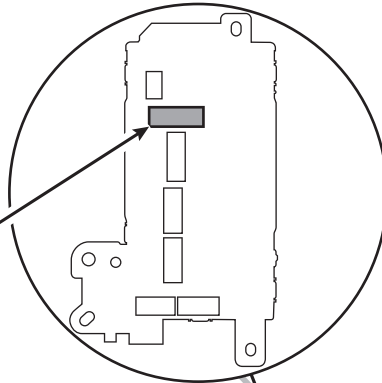
BOX No. 605432

車両情報	トヨタ	ルーミー	令和2年9月～	M900A/M910A系	4 / 5 ページ
	ダイハツ	トール	令和2年9月～	M900S/M910S系	
	スバル	ジャスティ	令和2年9月～	M900F/M910F系	

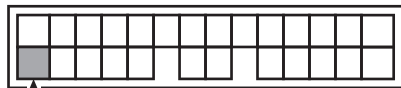
❗ 全車プッシュスタートシステム付き

- ❗ 専用ハーネスの取り付け方法は、本ページと4 / 5 ページを参照してください。
- ❗ CN2ハーネスの各配線の取り付けは5 / 5 ページを参照してください。

ヒューズブロック裏拡大図



ヒューズブロック裏側の
上側
26P 黒色カプラ



専用ハーネス

LF (赤)
赤

注意! : LF (赤) を接続の際は必ず付属してある、白色のエレクトロタップを使用してください。
(車両側の配線が細いため)



ヒューズブロック

初期設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(専用ハーネスの配線色)

車両配線色

車種別取付資料

BOX No. 605432

車両情報	トヨタ	ルーミー	令和2年9月～	M900A/M910A系	5 / 5 ページ
	ダイハツ	トール	令和2年9月～	M900S/M910S系	
	スバル	ジャスティ	令和2年9月～	M900F/M910F系	

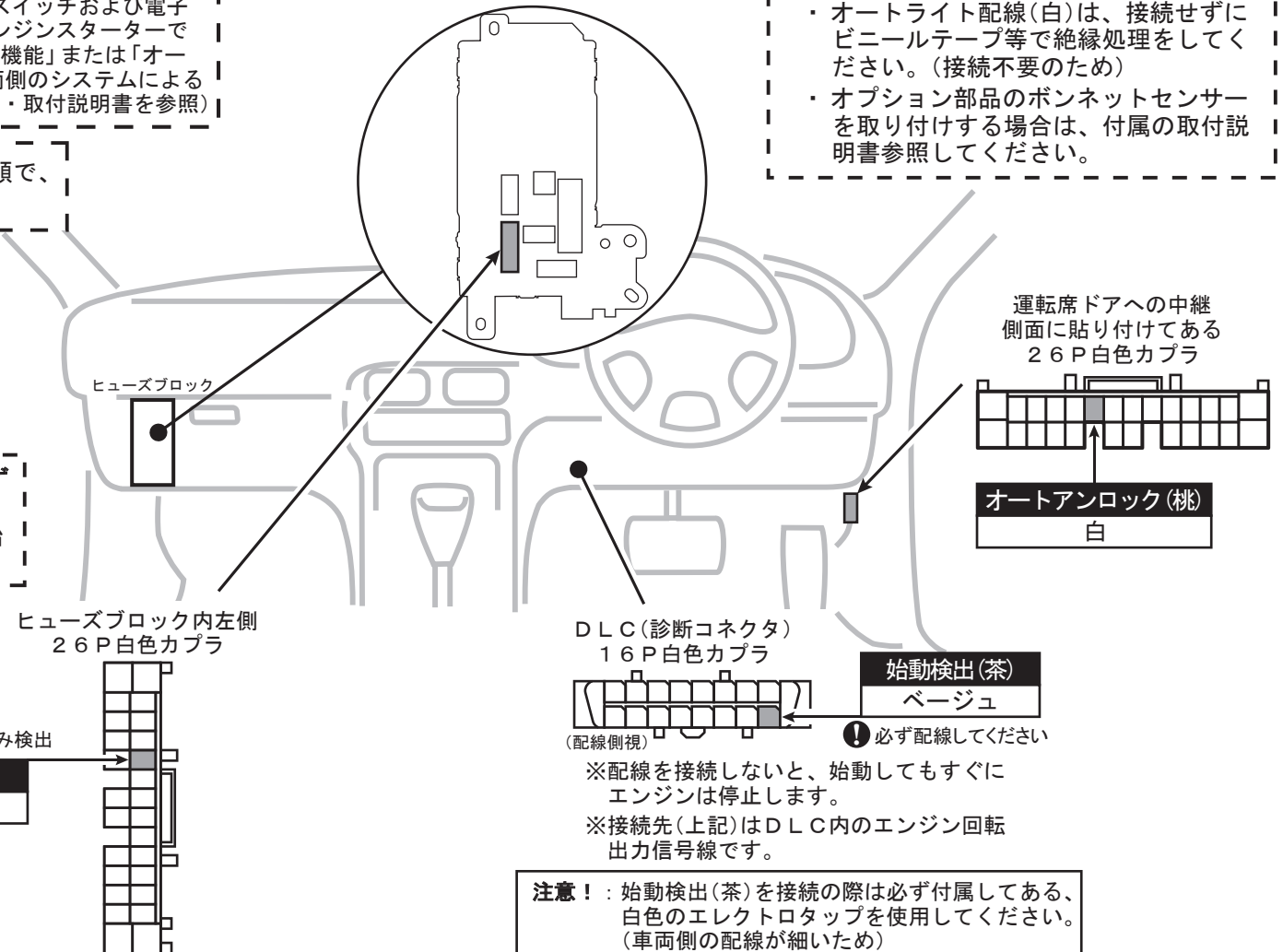
❗ 全車プッシュスタートシステム付き

❗ 特有の注意事項

※エンジンスターターでアイドリング中は、車両のリクエストスイッチおよび電子キーの操作でのドアロック/アンロックは作動しません。エンジンスターターでアイドリングを行い車両へ乗り込む際は、「オートアンロック機能」または「オートエンジンストップ機能」を使用して、エンジン停止後に車両側のシステムによるアンロック動作を行い、ドアを開けることができます。(取扱・取付説明書を参照)

❗ 取り付け後の初期設定は、本ページの左下に記載した手順で、フットブレーキを使用して設定を行ってください。

ヒューズブロック拡大図



❗ CN2ハーネスについて

- ・オートライト配線(白)は、接続せずにビニールテープ等で絶縁処理をしてください。(接続不要のため)
- ・オプション部品のボンネットセンサーを取り付けする場合は、付属の取付説明書参照してください。

初期設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

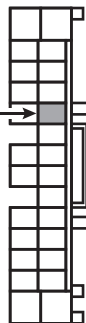
重要!

❗ 全車「始動検出(茶)」を必ず接続してください。接続しないと、エンジン始動検出ができません。

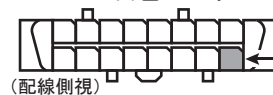
❗ 運転席ドアの開閉のみ検出



ヒューズブロック内左側 26P白色カプラ



DLC (診断コネクタ) 16P白色カプラ



始動検出(茶) ベージュ

❗ 必ず配線してください

※配線を接続しないと、始動してもすぐにエンジンは停止します。
※接続先(上記)はDLC内のエンジン回転出力信号線です。

注意! : 始動検出(茶)を接続の際は必ず付属してある、白色のエレクトロタップを使用してください。(車両側の配線が細いため)

NEXT LIGHT 配線セルフチェック

ESL55・ESL56 共通

令和 3年10月15日

◎初期設定ができない場合や、動作チェックでエンジンが正常に始動しない場合のみ下記の要領にてセルフチェックを行ってください。

1 準備、共通の注意事項

リレーユニットのCN-1・CN-2 コネクタをハーネスから外してからDIP-SWを全て「OFF」のポジションにセットしてください。

- ❶ 各手順で先に進めずブザー音「ブブー ブブー」が継続した場合はリモコンで「STOP」操作を行い、音が変わることを確認して、リレーユニットからコネクタを外してください。

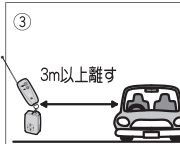
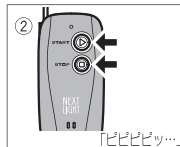
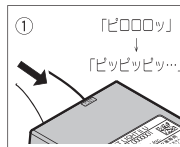
2 12V配線、GND線のチェック

- ❶ 専用ハーネスをリレーユニットに接続してください。
・ブザー音「ピロロロ」または「ピピーツ」は出ますか？

YES: 次のチェックへお進みください。
NO: 音が出ない場合は12V(黄色)配線、GND線を点検してください。

- ❷ リモコンで「START&STOP 同時押し」操作をしてください。
・ブザー音が「ピピピピツ ピピピピツ (継続)」に変わります。

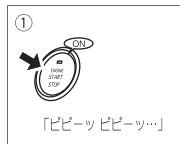
- ❸ リモコンと電子キーを車両から3m以上離れた車室外へ出してください。



3 LF配線のチェック

- ❶ 車両のプッシュボタンを1回押してください。
・ブザー音が「ピピーツ ピピーツ」に変わりますか？

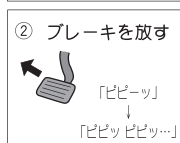
YES: 次のチェックへお進みください。
NO: 音が変わらない場合はLF配線(赤色)を点検してください。



4 STOP-1出力配線のチェック

- ❶ 車両のフットブレーキを踏んだままにしてください。
・ブザー音が「ププププ... (継続)」に変わりますか？

YES: フットブレーキを放し、次のチェックへお進みください。
NO: 音が変わらない場合はSTOP-1出力線を点検してください。

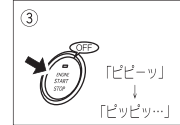
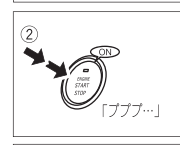


5 IG1入力配線のチェック

- ❶ リモコンと電子キーを車室内へ持ち込んでください。
❷ 車両のプッシュボタンを2回押してIG電源をONにしてください。
・ブザー音が「プププ... (継続)」に変わりますか？

YES: IG電源をOFFにして、次のチェックへお進みください。
NO: 音が変わらない場合はIG入力(橙色)配線を点検してください。

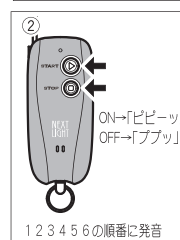
※車両側から運転席ドア開のアラーム音が出ている場合は、ドアを1回閉めてから開けると音が止まります。



6 DIP-SWの設定とチェック

- ❶ DIP-SWを車種別取付資料で指定されたポジションにセットしてください。
❷ リモコンで「START & STOP 同時押し」操作をしてください。
・ブザー音でDIP-SWの1番から6番までの設定状態をゆっくり発音します。「ON」の状態は「ピピーツ」、「OFF」の状態は「ブブツ」と発音します。車種別取付資料に記載されている通りにブザー音が出ることを確認してください。

例: 2番と5番がONの場合
「ブブツ」「ピピーツ」「ブブツ」「ブブツ」「ピピーツ」「ブブツ」



7 配線セルフチェック完了

- ❶ リモコンで「STOP」操作をしてください。
ブザー音「ピピピツ (継続)」が止まり、すぐにブザー音「ピピーツ」が出ます。
約6秒以内にブザー音「ピロロロ」または「ピピーツ」が出て配線セルフチェック完了です。

- ❷ 初期設定(前ページ参照)を行ってください。

❶ 配線セルフチェックが完了しても不具合が改善されない場合はお問い合わせください。

